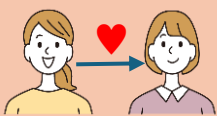


LGBTQ+ってなんだろう

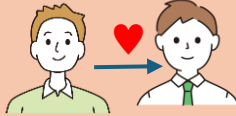
助産師、看護師として
何ができるだろう

L G B T Q

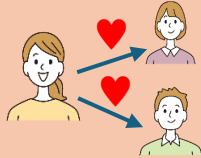
レズビアン
女性の同性愛者
(心の中も恋愛対象も女性)



ゲイ
男性の同性愛者
(心の中も恋愛対象も男性)



バイセクシャル
両性愛者
(恋愛対象が女性にも
男性にも向いている)



トランスジェンダー
身体の性と心の性が一致
しないため身体の性に
違和感を覚える



クエスチョニング
自分の性的指向や性自認が
定まっていない、または
意図的に定めていない人

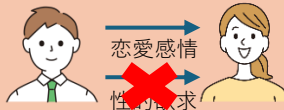


+

他の様々な
セクシュアリティ

ノンセクシャル

他人に対して恋愛感情を抱く
が性的欲求は抱かない



アロマンティック

他人に対して恋愛感情を抱かない
が性的欲求を抱く場合がある



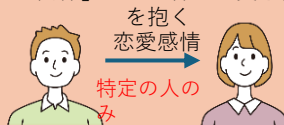
アセクシャル

他人に対して恋愛感情
も性的欲求も抱かない
こと



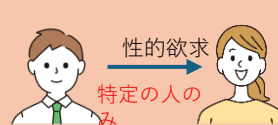
デミロマンティック

他人に対して恋愛感情をめったに
抱かないが「強い感情的な絆や信頼関係が
築かれている関係」の人に稀に恋愛感情
を抱く



デミセクシャル

他人に対して性的欲求を滅多に
抱かないが「強い愛情や深い友情を持った相手」
に対してごく一部の場合に性的欲求を抱く



1.性の多様性を知ろう
性のあり方は単に法律上の
性別だけでなく、性自認、
性的指向、性表現の要素があり、
私たちが向き合うべき人は
「LGBTQの人」ではなく
「その人」です。そのためにも、
まずは、セクシュアリティの
正しい知識を持ち、個々人の
セクシュアリティを
否定せず尊重しましょう。

2.フレンドリーになろう
相手を尊重していることが
伝わるように、またお互いが
話したいことをより安全に
やり取りするためのフレンドリー
な態度を学ぶこと。
レッテル貼りをやめ、
「その人」を見ること。
これらのことが大切であると
考えます。

体の性別とは異なる答えを
口にするのは、今の社会ではまだ容易な
ことではありません。

私たちが生きているこの社会は、
あらゆる場面で性別を問われ、
それに沿った期待や扱いをする社会です。
このことを変えていく必要もあります。

相談先

どのように対応したらよいか困ったら
相談してみましょう

虹色ダイバーシティ

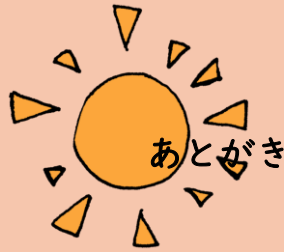
[LGBTQ相談先リスト | 認定NPO法人
虹色ダイバーシティ \(nijiiriversity.jp\)](#)

よりそいホットライン

[☎ 0120-279-338](tel:0120-279-338) よりそいホットライ
ン | 一般社団法人 社会的包摂サポ
ートセンター (since2011.net)

こちらの
Instagramで →
紹介しています！

上記以外の相談先も
載せています



このリーフレットを作成するにあたり、当初は「LGBTQについて知り、助産師、看護師としてどのように対応するか」といった内容を検討していました。しかし、LGBTQだけではくくれない、さまざまなセクシュアリティがあることを知り、画一的な、いわゆる「対応マニュアル」のようなものは困難であり、その考え自体が個性を無視したものであると感じました。

命の現場に立ち会うことを生業とする私たちだからこそ、「そのままで素晴らしい存在」であると伝えることができるのではないかと。

その人が新しい自分で生きようとしていることを応援し、何かあったら話してもらえ存在を目指したいという思いを込めて作成しました。

(作成)

By チームぎょうざ

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子保健」

即戦力育成プログラム事務局

Phone&Fax 086-235-6538

E-mail : josan@cc.okayama-u.ac.jp

性の多様性って？

FOR
MIDWIFE & NURSE



あなたは
助産師、看護師として
性の話ができますか？
助産師、看護師として、
助産師、看護師だからこそ、
何を知るべきで、
何ができるのか、
一緒に考えてみませんか？